

IMEトレーニング奥州 放課後等デイサービス事業所自己評価表集計

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	2	0	・児童さんの特性ごとに部屋割りを決めています。 ・各部屋に部屋割りをしている。自己主張の強い子の意見が多く、周りの子が我慢している様子が伺える。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	1	0	・人数は適切であるとおもいますが、かかりきりになる子がいると、周りの子との関わりが難しい。 ・スタッフ同士で協力して補っています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	3	2	・大手町フリースペースの階段は手すりがなく児童さんの行き来が不安なため、必ずスタッフがつかうように共有しています。 ・店舗の階段については、補足具をつけている児童さんの行き来スタッフがつくこと 児童さん達とは、階段では遊びかお約束をしています。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7	2	0	・朝礼の際と送迎後に毎日スタッフ間で共有しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	6	2	1	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	5	0	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	2	1	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	3	0	・面談で、変化していくアセスメント・ニーズを把握していきたい。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	3	2	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	6	3	0	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	3	0	・外遊びを工夫している。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	6	0	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	4	0	・個別の時間と集団の時間は確保できている。 児童さんの希望に沿って無理のない範囲の活動にしている。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	2	0	・全体の打ち合わせはしているが、個別としては不十分だと感じている。 ・しっかりと役割分担をして、スタッフ同士で協力し合って仕事しています。
16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	2	0	・帰り送迎後に話し合うことが出来ている。 ・子供の様子など、特に必要な連絡事項を直接報告している。 ・その日の出来事をスタッフ同士で話し合い、改善方法を考えています。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	2	0	・療育報告が完璧ではない。ケース記録の入力が11月以降追い付いていない状況である。 ・療育報告はその日のうちに報告している。	

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	4	0	・出来ている児童さんと、出来ていない児童さんがいる。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	3	6	0	
関係機 関や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	1	0	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	6	3	0	・学校訪問を行っていない児童さんもいる。 ・送迎時間のトラブルが月に1～3回ほどある。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	5	0	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	4	0	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	5	0	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	0	・子育て支援センター訪問を実施。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	6	3	0	・児童クラブへの訪問をしている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7	2	0	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	1	0	・帰りの送迎の時に、保護者の方に今日の出来事や良かった事を日頃からお伝えしています。 ・連絡帳、送迎時、電話等で共通理解を図っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	7	2	0	・講習会への参加を呼びかけるが参加は決して多いと言えない。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	2	0	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	0	0	
	35	個人情報に十分注意しているか	9	0	0	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	5	1	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	4	0	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	2	0	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	1	0	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	8	1	0	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	8	1	0	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	2	1	